

令和4年度入学生 H・Kさん

（１）税理士の道を目指した理由

私の家は父親、祖父とその前から代々税理士なのですが、私自身は、大学卒業まではまったく税理士の道を目指そうとは思っていませんでした。

ただ、自分の会社を作りたいという目標があって、そこで会社を立ち上げるには定款の作成や税務署への書類提出等、いろいろと手続きが必要であることを知り、そのために司法書士や税理士に依頼するとお金がかかってしまうことも知りました。だったらすべて自分でやってみようと思って。このとき初めて税理士の仕事内容について興味を持ったことと家族が税理士ということもあり目指すことを決めました。

大学卒業後、いくつかの税理士事務所へ勤務した後に、大学院進学を決めました。

（２）平成国際大学大学院を選んだ理由

過去に勤務していた税理士事務所でこの修了生2人と出会ったことがきっかけです。大学院自体は、税理士を目指すとした段階で進学を検討していましたが、どこの大学院にすればいいか迷っていました。

そんなときに、修了生の方と出会い、平成国際大学大学院を勧められたことやアクセスの良さ、懇切丁寧な指導体制、指導教員のご経歴等から総合的に見て、通うことを決めました。

（３）研究テーマ

私の研究テーマは、「各種所得の控除項目について」です。このテーマにした理由は、会計事務所で勤務していると、顧問先の規模や業種、そのときの状況により、必要経費の概念が変化することに自分自身その仕組みを理解しきれていない所があり、実務においても困ることがないようにあえて修士論文テーマとして取り上げることになりました。

（４）学びの中で、最も印象に残っているエピソード

1年生の時に受講していた「民法特殊研究Ⅳ」は、先生が民法初心者にも分かりやすく説明して下さったことと参加型の講義というのもあって印象に残っています。この講義では、ホワイトボードに事件の概要を図に書く役割の人、事件の内容を読み上げる役割の人、最終的にどのようななったかを自分で考えて答える役割の人に分かれて行ったのですが、今までやったことがなかったので新鮮で、楽しく講義を受けることができました。

民法の解釈の仕方等、税法で生かせるものを税法以外で学べたということはとても良かったです。

（５）今後の目標

大学院を無事に修了した後は、残りの税理士試験科目合格をし、税理士登録することです。将来的には実家の税理士事務所を継ぐか、独立事務所を開業したいと考えています。

また、修了後も同級生や先輩方との“横のつながり”を大切にしていきたいです。

（６）受験生へ一言

税理士事務所等に勤めながらですと、繁忙期はなにかと大変かと思いますが、その時は講義での発表の順番を変えていただいたり、少人数制だからこそ融通が利くことは大変助っていますし、指導教員である金沢先生は、一人一人のレベルに合わせた指導をしてくださるので、まったくの未経験者でも安心して勉強することができます。

また、私は税理士試験科目が１つも合格していない状況で大学院に入学していますが、大学院から入って、法の仕組みを理解したうえで税理士試験に取り組むことも効率的で良いかなと思います。